

# 国鉄 EF53電気機関車 形式図

1932年と1934年に製造されたロコで戦前の国鉄電気機関車を代表する形式として有名  
 1928年製造開始のEF52が、国鉄における本格的国産電機の最初のクラスであるが、このEF53はその改良型として19輛生産された  
 内2輛はお召し用機関車にもなり、このロコの優秀性を示している  
 前後端のデッキはEF50, 51に引き継がれたものであるが、本線用大型機としての威厳に満ちており、その下方土台枠前部もなかなか印象的である  
 同系機としてEF52のほかEF10(初期)、ED16があり、またこの形式を発展、改良してEF56, 57などが誕生  
 2CC2という車軸配置が、長い間にわたって国鉄大型電機のスタンダードとして続いた  
 東海道本線を中心に活躍したが、1962年からは山陽本線の勾配区間の補機に使うため改装され、EF59となった  
 しかしその面影はまったくそこなわれていない

